

2019年6月28日満期 円貨決済型インド・ルピー建社債 (グリーンボンド)

利率／年(課税前)

6.10%

インド・ルピー建の表面利率

(注)利率はインド・ルピーベース(課税前)です。

売 出 期 間

2016年6月13日～6月28日

売
出
要
項

発 行 体：クレディ・アグリコル・コーポレート・アンド・インベストメント・バンク

格 付：A2(※Moody's)／A(※S&P)／A(※Fitch)

利 率：年6.10%(インド・ルピーベース課税前)

売 出 価 格：額面金額の100.00%

お申込単位：額面100,000インド・ルピー単位

売 出 期 間：2016年6月13日～6月28日

発 行 日：2016年6月29日

受 渡 日：2016年6月30日

償 還 日：2019年6月28日

利 払 日：毎年6月28日および12月28日(年2回)

(ショートファースト・クーポンの為、初回は178日分)

*インド・ルピー建社債は通貨規制により外貨決済を行えません。
ご購入時・償還前の売却時および元金は円貨での決済となります。

*上記の「※」印の格付会社は「無登録格付業者」となりますので、当該銘柄は「無登録格付」となります。詳細は「無登録格付に関する説明書」をご覧ください。

手数料など諸費用について

- 本社債を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 本社債の売買にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。
- 本社債の利金および償還金は、支払い時の一定の相場に基づき、一定の算式により換算された円貨で支払われます。

外貨建債券のお取引にあたってのリスクについて

- ① 為 替 変 動 リ ス ク：元金は外貨によって表示されますが、支払いは円貨によって行われるため、為替相場の変動により、利金、償還時及び中途売却時の円貨でのお受取り金額は増減し、元本の損失が生じるおそれがあります。
 - ② 価 格 変 動 リ ス ク：中途売却の場合には、売却時の債券市況や金利水準により、債券の売却価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。
 - ③ 発行者の信用リスク：発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、元本や利息の支払能力(信用度)が変化し、元本の損失が生じるおそれがあります。
 - ④ 流 動 性 リ ス ク：市場環境の変化により流動性が低くなることも考えられます。その際には、店頭取引において、買い取りが行われなくなる可能性があります。
 - ⑤ カントリーリスク：発行通貨国の政治・経済・社会情勢の混乱等により債券の売上が制限されることなどから、元本の損失が生じるおそれがあります。
- 上記は全てのリスクについて記載したものではありません、それ以外のリスクも存在することがあります。

無登録格付について

本資料において使用される格付けについて、以下に掲げる当該信用格付付与者は金融商品取引法第66条の27の登録を受けておりません。無登録格付に関する留意点につきましては、「無登録格付に関する説明書」をご覧ください。

- ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク(Moody's)
- S&Pグローバル・レーティング(S&P)(旧スタンダード・amp・プアーズ・レーティングズ・サービスズ)
- フィッチ・レーティングス(Fitch)

税制について

- 利子：利子は20.315%の税金が源泉徴収された後、申告不要または申告分離課税の選択をすることができます。
- 譲渡益および償還益：上場株式等に係る譲渡所得等として申告分離課税の対象となります。
- 利子、譲渡損益および償還損益は、上場株式等の利子、配当および譲渡損益等との損益通算が可能です。また、確定申告により譲渡損失の繰越控除の適用を受けることができます。
- 税制が改正された場合等は、上記の内容が変更になる場合があります。詳細につきましては、税理士等の専門家にお問合せください。

お申し込みの際は

- 「外国証券取引口座」の開設が必要となります。
- お申し込みの際は、必ず目論見書・契約締結前交付書面をお読みいただき、その内容をご確認ください。
- 当社において販売いたしました外国債券の価格情報の状況等につきましては、当社にお問い合わせください。
- 資料のご請求は、当社の各支店へお問い合わせください。

■ お申込み、目論見書のご請求は…

アイザワ証券

商 号 等：藍澤證券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第6号

(本 社) 東京都中央区日本橋1-20-3

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター(略称：FINMAC)

発行体 クレディ・アグリコル・コーポレート・アンド・インベストメント・バンクについて

クレディ・アグリコル・コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(以下、CACIB)は、フランス・パリに本店を構え、資産および自己資本(Tier1)ベースで世界大手の金融グループである、クレディ・アグリコル・グループ(以下、CAグループ)の100%子会社です。

CAグループは、1885年(明治18年)に設立されたフランスの農業系金融機関であり、フランス国内および国際リテール銀行業務、法人営業・投資銀行業務、保険業務、資産運用業務などの様々な金融サービスをグローバルに展開。従業員数は14万人におよび、資産規模でも世界最大の協同組織金融機関グループです。特にリテール業務に強みを持ち、フランス国内の普通預金シェア23.2%、国内ローンシェア21%(以上2014年9月末時点)と、国内最大手のリテール銀行としての地位を維持しています。

CACIBは、CAグループの法人営業・投資銀行部門として、本店パリ、ロンドン、ニューヨーク、東京、香港を中心に世界各国でグローバルに業務展開しています。融資業務、キャピタル・マーケットおよび投資銀行業務等を主とした幅広い商品とサービスを世界各国で提供しながら、CAグループの資金調達主体としての役割も担っています。

グリーンボンドとは

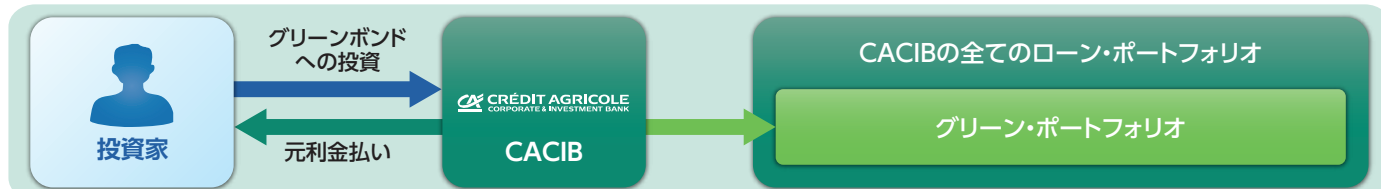
グリーンボンドとは、より環境にやさしい経済・社会の発展に取り組む企業・プロジェクトをサポートすることのできる債券です。CACIBの発行する本債券を通じてこれに寄与することができます。

CACIBは、グリーンボンド発行による調達資金と同額以上をグリーン・ポートフォリオに充当するべく最大限の努力をします。

グリーン・ポートフォリオは、以下の点を満たす企業・プロジェクトへのローンにより構成されます。

- (i) 環境、社会及びガバナンス(以下、「ESG」)面において優れたパフォーマンスを示す企業・プロジェクトであり、かつ
- (ii) 再生エネルギー、エコ効率技術、水資源・廃棄物の設備やその管理等のグリーン・セクター分野に属する企業・プロジェクト

グリーン・ポートフォリオに充当される金額がグリーンボンド発行による調達資金の金額を下回る場合、その下回る金額分については、一般事業目的に使用されます。



インド共和国の基礎情報

出所:外務省

面積	328万7,469平方キロメートル (パキスタン・中国との係争地を含む)(2011年国勢調査)
人口	12億1,057万人(2011年国勢調査)
首都	ニューデリー
言語	連邦公用語はヒンディー語、他に憲法で公認されている州の言語が21
宗教	ヒンドゥー教徒79.8%、イスラム教徒14.2%、キリスト教徒2.3%等
名目GDP	2兆669億ドル(2014年:世銀資料)
実質GDP成長率	7.6%(2015年度:インド政府資料)
主な輸出品目	石油製品、宝石類、機械機器、化学関連製品、繊維 (2014年度:インド政府資料)



為替チャート(1インド・ルピーあたりの日本円の数値)



インド・ルピー高
円安

インド・ルピー安
円高

出所: Bloomberg、2016年6月8日時点のデータ